

# 佐藤 博 議員

## 無所属クラブ

### 海南病院施設整備事業 補助金関連問題について

#### 問

(1) 海南病院は、近隣市町村【】から助成を受けている中、賃貸マンションを一括借り上げ契約し、全室入居の形跡がない状況である。その点を踏まえると助成を見直すべきではないかと考えるが、市長の所見と対応は。

 愛西市・蟹江町・飛鳥村  
三重県木曾岬町

- (2) 整備が進むことで、助成している近隣市町村以外の患者が増加することを懸念する。市民が安心できる体制はどうか。
- (3) 市民が病状により医療

機関を選択することを市として指導していくことが重要ではないかと考える。そのことが、海南病院が救急救命センター【】としての第3次病院の使命を十分果たせると提案するが、市長の考えは。

 急性心筋梗塞、脳卒中頭部外傷など、二次救急で対応できない複数診療科領域の重篤な患者に対し高度な医療技術を提供する救急医療機関である。

#### 運営協力委員会で 改善をしよう伝える

#### 答 市長

(1) 近隣市町村が助成をし

ている観点からも、無駄遣いは許されない。全室利用が望ましいし、改善をしていかななくてはならないと考えている。改善のために次の3点を委員会で伝える。来年3月末には全ての部屋が空きのないようにする。医師及び研修生から他職種へ拡大してでも利用すべき。入室が困難と判断された場合は、契約の見直しをすべきである。

(2) 行政支援をしている2市2町1村の首長も同じ意見であり、現在、海南病院に救急搬送されるのが年間5千台を超える。

こうした現状の中、第3次救急医療として救急病棟を2階に開設する。医療体制として、医師は昨年から正職員の医師5名を増員し、128名体制、また、4月より日本救急医学会認定専門医資格を持つ救急外来の専従医師を配属している。看護師は、救急外来、救急病棟の医療スタッフ用として、現在救急外来及び救急

病棟勤務の看護師39名を確保。病室は、救急外来、救急病棟20床が新たに9月から稼動する。

(3) 行政から病院の情報をホームページ等で紹介をすることはできても他の病院へ行ったらどうですかということは言えない。患者の立場からすれば、納得のいく自身自身の治療を重ねていくことが望ましい。

最近海南病院から開業医の紹介をされることが多くなり、海南病院のドクターや院長から、救急救命センターの講話をしていただくありがたいと思っている。

#### 弥富駅周辺整備計画の取り組みについて

#### 問

総合計画で、JR及び名鉄弥富駅の橋上駅舎化、駅周辺の道路の整備及びバリアフリー化、商店街の環境、景観整備を含め駅周辺市街地のまちな顔としての一体

的な整備を検討・推進しますとある中で尋ねる。

(1) 進捗状況はどうか。

(2) JR及び名鉄弥富駅をどのように便利にするかという中で北側からの進入路を考えてはどうか。

#### 財源不足が発生すること も踏まえて一時凍結

#### 答 市長

(1) 22年からはJR及び名鉄、近鉄弥富駅周辺のまちな顔づくりにおける課題を整理する中で23年3月11日の東日本大震災以降、最優先課題は防災・減災であるとし、一時的な凍結とした。

(2) 一時的な凍結ではあるが、JR、名鉄と協議の中で、32年度までにバリアフリー化がある。北から線路を高架で渡る自由通路を第1次総合計画の後期計画の中に入れ、地域周辺に便宜を図っていききたい。